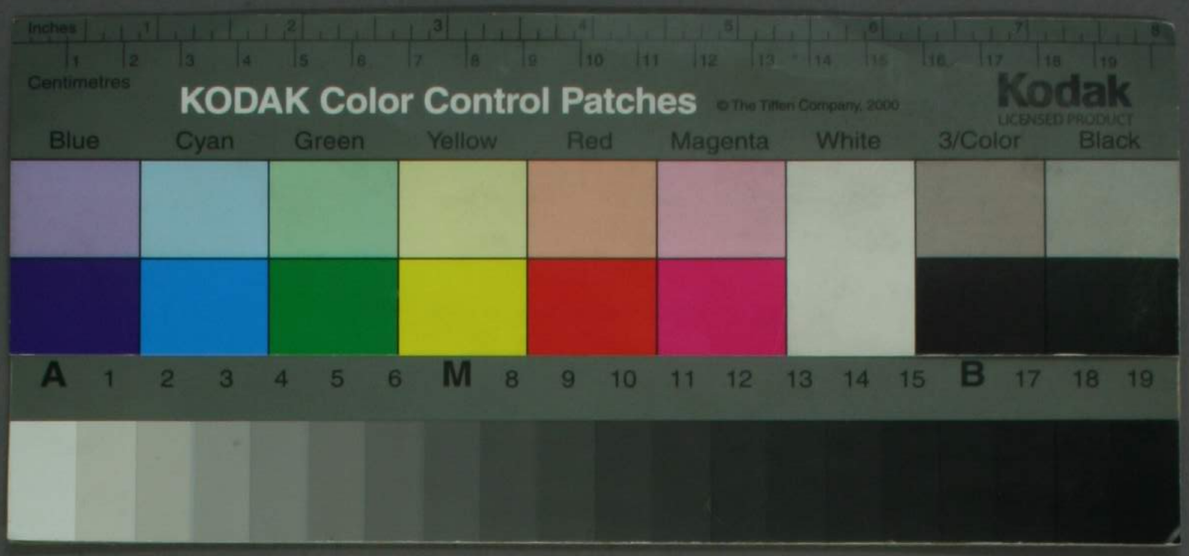

Inches
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

門 ル 4
帙 1.606
巻 1

洛陽名所集巻之九目録

北野
釈迦堂 遍教
地蔵院
大秦

門野
西方寺
槙尾
木鴻

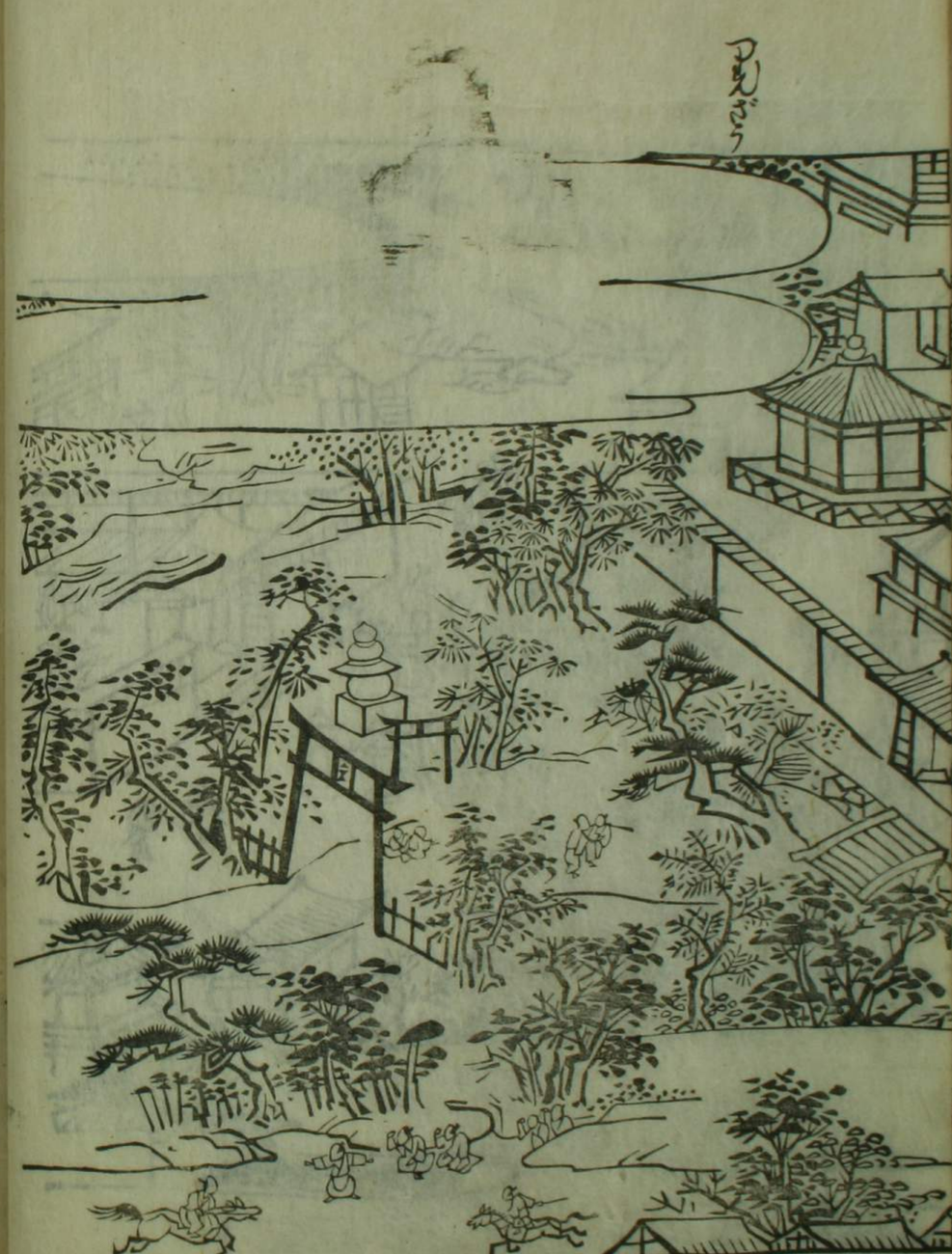
観音寺
高雄
栂尾

清水堂
神護寺
妙心寺

みのそや

北野の
社

さくら王たう
ようろう松



小野

○けふは、都城乃小西也。天満宮に、菅神廟
ぜうけ。宮社清潔。繁盛しぐしく
くぶ。茶屋軒をならべ。清人ぶ。
りびけ。さよ。中の感ぐ
こそ。ぶんの所
小野の天神は、右大臣菅原朝臣の霊也。ぐ天徳
四年。ぐ。歴世ぐしくて清公よいぐ。
公ぶ。是善公。善ぐ。巨儒にして。
ぐ。善乃男。右大臣。ぐは道真ぶ。ぐ
うぐ。讒言ぐ。ぶ。

鄭覲で年之月。文章生に補し。同九年。得業生に補す。十二年二月二日。對策及第し。十八年。侍從より。元慶六年。渤海國の使節。詩傷よりまうでぬ。使者。右大臣の侍臺に出て。いひしは。風制。尚書令。貴殿。横岐國。

仁和年中。横岐國。

仁和年中。横岐國。

寛平五年二月。參議となり。六年。侍從吉祥院より。九年六月。中納言にのぼる。大納言にのぼる。大將をも。昌泰二年二月。右大臣より。右大將をかね。この時。左大臣左大將藤原朝臣時平。

皇の勅をうけ。天下を輔佐しまつりぬ。初め。帝。年十四にして。即位ましく。位をはなれ給ふ。一日。未の刻。院より。上皇の御所に。上皇。帝。

よりまうでぬ。右大臣。左大臣。

位をゆずりまつり。上皇。帝。

して。止けり。この。左大臣。大臣。

光卿朝臣。菅根朝臣。なほ。

臣の妹。皇后。

くおもひけり。

推帥に左遷せ。島流。

延喜二年二月。

二日。配所にて薨じぬ。

とうかいち。安楽寺よりて。年九十九にて
平安城にて。その菅家郷集一巻をえ。詩
文を菅家文章十二巻。字多帝の延喜
菅原後集四巻。かくいつぶる菅家日記はつ
もじめ右大臣。従二位文章天満宮
縁ナ巻をあつめし。大臣序を撰し。又目録
うつ代寶縁をるよりて。部類して類聚
國史をえ二百巻をあつめをもて。延喜八
年よ。藤原朝臣菅根卒し。九年よ。九月廿四日
薨し。十四年よ。京師災ありて。延長元年よ。
大内裏縁の親王薨し。多ひの都下に菅霊

乃祟りとうとて。同八年六月雷雨涼殿
おち。藤原清貫平希世ともに震死し。義孝
九年よ。延暦寺災て天慶二年七月菅原天満
宮七条堀の神文をとりて。託りて。延喜
雷よりて。天慶元年平将門と小野
国良社乃祢宜良種に託し。自ら名をいう。
六月乃小野よ。良種よりて。松殿山王社
天満天神をつのりしるし。朝日寺の僧最珍右京の
太夫と合せ霊験遠
右大臣の孫右師輔大度殿あらため
たくつるとかりて。小威殿やうひに年九月廿

三日庚申乃夜内裏殿舎し圓融院さゝ時ゝ及
ゆゑ改官あり工匠作とめぐし新
けづりもの紙一夜乃乃虫天狗のうゝ乃板紙
くゝ文字をけくゝ所くゝ所くゝ所くゝ
やけるんくゝのくゝやもゝのいくまのわくん
つぶりハとくくく

理一貫儒仏小野菅原只愛梅るこの句あり
羅山の道春撰者の神社考に法序さる玄乃
賛天水日日本崇敬小野多忠梅孫海道能文
摘居雪舟二人雪一夜花番度海西つくる自
ゆるすこと紙乃ゆるしさらえふ孫
に宏儒の老儒のふ
菅神乃霊性なるう。販夫富婦ちぐいうや
くしあづあ。諸国徴邑に後世おさ仕るさめ
ゆゆしく紀伊国和歌の浦菅廟乃碑銘勝敏文
慢窩先生玄也句意感嘱ふく隙暴
称賞ひる先生ハ余ぐ師冷泉為景朝臣の厳父

して太朝中興の鴻儒るるさ仕ゆうう朝臣
継業ゆけ仕ゆるつく。たるも超邁の抵質なる
ハ学の稽聚ゆして後光明帝乃師憑ゆおか
くるるへるる法しる。慶安壬辰の年二月二十
九日ハ菅神ゆん七百九十年四乃正當ゆるく廟
前ゆ十万灯とたるく。祠ゆるしり北時
に朝臣教育の待ゆ乃ゆ吟嘯せるる。余ゆ
春節ゆ年ゆるる乃ゆ迎當日ゆしてるるる
いるるくしゆくる。孫削ゆ清ゆ
ゆる日ゆ宝庫ゆおう倚しまる。
ゆゆしゆ神ゆるるやゆひんゆゆたるしるせんゆ

[illegible]人のかりよ[illegible]なるとおぼえに霊社[illegible]云
[illegible]へなるしけるよ[illegible]ばうごうさんいわ[illegible]
[illegible]ましたるさなる真のいませるあはこ[illegible]く
その盛のもてなしを[illegible]をあつくてぞみちよる
人へさいなるぞ儒秋[illegible]のこ教ばとく
よろなおしけるとも為とんふ[illegible]くれるひ
[illegible]なるの所[illegible]よたごん

内野

○しけ堂ハ小堂の右をの馬場上下を云や
為家卿云のにいるせん関白の芝生多
[illegible]なるくつあ作よさ[illegible]知をとよ
く後深草院が将内侍乃のに九を出
内堂乃ものにをつきくもにに八を世
[illegible]をくふ[illegible]なり

観音寺

○しけ寺ハ法堂[illegible]ら也観音堂東ものさにら
[illegible]山本左大臣御建[illegible]等身多手也
[illegible]仏[illegible]しけ院をと[illegible]仏多の[illegible]

あつ一ホ也ほの天井板ハ弥のおりしろ時
のうつし宗旨ハ真言也

経王堂

○し堂ハ観音ゟ乃ものゝ靡なり岩遊飛建宮ゟく
自是乃頭ゟ経王堂ゟかけて

○矢ゟ松　経堂乃ちゝや

遺教経堂

此堂ハ仏堂乃東やこ二月十五日ゟ修命ゟ
ゟ。孫とゟ。この日ゟ。ゟ。ゟ雪ゟ
どゟゟく。ゟ。ゟ。ゟ。ゟ
ゟ。ゟ。ゟ。

ぢさうえん

ぢんじ
高雄たかの

高雄

神護寺

○けやきの洛陽よりも一里餘乾の方にあり
玉葉集に久く基つゝのよりるとゝ山清滝川は
底によみくゝ谷のけめぐりふまつのトみち
高雄上人立のこゝ清滝乃流くの岩なるこゝろを
山人も風流なる方にしむ
ひの一斉謙天皇の削入道は此寵しゝ毎に。
位は讓脱にゝんそゝく。宇佐宮へ和氣拓名
は勅使にたゝくられゝ神ゝそゝるべゝぞ
かくなるゝこゝばゝ拓名こゝろのこゝ乃まゝに奏し
無天皇さゝるゝゝゝるゝゝゝゝゝゝゝゝ雄

乃海山へおしこめ。左右は明こまりつけ
なくしてあいぬ。かくこそ。時雲。松名が
うへにかゝる。雲中にて。衣冠乃人はかゝるもの
くいひ。所詮をしのぐくにたのしくかゝ
弥人ハ。ハ。情弥なり。ぶけりうう薬師を作る
はるゝへぬ。松名こそ精舎をたてて。神護寺
や名付。乃ら。乃ら。文覚陸造しけりぬ。
又称を乃僧正位をしゝ。愛宕の高尾や

○神護寺　諸堂

初。神願寺と号しぬ。天長二年に弘仁
弘護国祈真言寺云

釈真澄ハ。紀氏洛陽の人。朝議郎御國ゑと
ゑや。母いとあやしきなりとて懐妊
しけるとそ。おさなきより性誕生
ゑし。大小乗。外学のしまぐ。ぶゑ
し。弘法大師よりさぶ。二十出家。密法
ゑ。高尾峯にこれ十二年のあく。
おほひ。仁明帝乃勅をうけ。入唐し
ゑ。洋中にて。風波乃難おこり。ふゑ
やぶれなんとす。供奉二十人乃ゑ人
死しぬ。ぶゑ直。渚いよ一人真然の
所求ゑ。ぶゑ百乃乃ぶけひ

して。海とあやしき光をはなちて。
南島のそこより出でゝ。帰朝されぬ。
怪。高尾神護寺の内よ。宝塔をくゞ。
虚空蔵像をもつくりあらため。春秋大法会を修
て。治まいのこゝろをうし。嵯峨帝をめ
して。そのまゝ内供奉十禅師をくはへ
くはまる。文徳帝。僧正の勅をうけ。表書
にくまはる。弘師弘法をゆづる。
かくうや。貞観二年二月廿九日に寂。六十
ておはりぬ。

文覚ハ藤氏。摂遠くいとゝ者や
ハのゝしのやまもとゝ。婦の前にさうゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。

兼乃末武衛詔ばれけるもの平家を
うち文治まつりごとめにいさ家をとぐる
かばぼし。ぼとぼくぼ。ぼを覺め威勢す！
て又東寺ばぼ。ぼるもぬ。ぼもよつる苦行
みくぼ。ぼんみくぼ。ふぼ。那智山にもり大塔ば
ひとびと七日ぼの下にぼにぼ。ぼ日ぼぼ。ぼ
ぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼ一重見
さぼぼ。ぼぼぼぼ覺ばなぼだたちぼぼに
ぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼ覺いぼぼ
ぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼぼ

なごのうらにぜんぜんの秋は多くひ
水にうけてふるさとなれりなどげもそ
ふるゝ○ゆきの夕日うつるやゆくへ人ゝ
うつゝをぬけるなどのぶるぶ華乃うゝ
して。たゝ遠乃ゝ遠乃ゝこれなるめして。槭化
して。楓林となるゝ。宋山にのこるどもや
霊運ハ曉雲ハ朝雲ハ乃べ。巖武ハ宮殿ハ秋ゝ。
郭功父ハ蜀錦ハ蜀の田ハ
などにくるゝ車ゝ。蓬ゝ信ハ吳江ゝ
くゝ杜牧ハさゝぶゝ。ゝ二月の花をいのぶし
ゝ。照ゝ橫浦ハ吳の鼎ゝ入唐刹川ハ夕陽

中にゝ。徐玉泉ハ漁嫁居ゝくなるあるゝ
とゝげふさゝ。ゝゝゝや

地藏院

ゝ院ゝ。ゝ。なるゝ溪ゝゝにゝ乃ゝ。ゝ。ゝ。ゝ
ゝゝゝゝゝゝ人ゝ土哭なのゝ。ゝゝゝゝ
ゝの。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

槙尾

○さ山の峰ハ高雄より七八町小坂
新後撰に雅經ゝ
花さの盛りさのおくれわをゞの宮ゝ
花ハ梅尾とゝめなの色ハゞにさゝめ
いつゝも法俊さしうゝ
ゆへまゝに律宗前にるゝ
又下野ゝのけ西せし猿のおゝ乃山れに
衣ゝなゝゝ治の宮人ゝゝらの猿ゝ
ゝまゝゝゝゝ
なゝ

梅尾

○此所ハ高雄乃西のゝゝや明惠上人開基也
上人ハもと和ゝのゝゝにゝゝく自遣心
集ゝゝ書ゝのゝゝゝのゝゝはゝめらゝ
新勅撰ゝゝ上人乃ゝゝ
釈高弁ハ紀列在田郡人平重國乃也ゝる舍
帝乃清兵曹ゝて仏祠ゝゝゝ求ゝ
ゝや母ゝ妻ゝの変にゝ人耕ゝゝゝ
その妹ゝゝゝゝゝゝ大樹二顆
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

正月延年の祝儀あり。四歳乃至六。四歳乃至重國たちまちよりて
帽子をかぶせ。くのさぶらふ美男にて
うなる。冠中をくつ仕途にのぼらんや
かくいふ。兄弟にあらずして。儒儀の
ふるまひ。官屬祇孫にして。ぼもとの
とけ。ぎうぎうにやうなんて
庭下に投しけるゆゑ。
伊豆かぶ。おいさぶらふ。亦火炉
ちりぢり。火番とる。面にやきあとをん
ゆ。えんてうに。龍驤にのぼ。

熱痛のびかぶるとけたそのまま
なげきそめ。九歳乃至父母にとぶく
ぶるを。ぬぐて。宅にれ。高尾山
上覺ふるぶ。興舍頌とる。能日
にくそんじ。ぶらぬ。一日稱兒
ふ。にれわそぶ。しに。ぶ。
父母の劇苦をもちぶ。天眼
ぬぐ。ぶ。れぐとんをのを
ぬとく。所業ぶ。十二歳。
遊學をとく。密乘ぶる實に
雜義ぶ景邪なり。十三すて諸佛

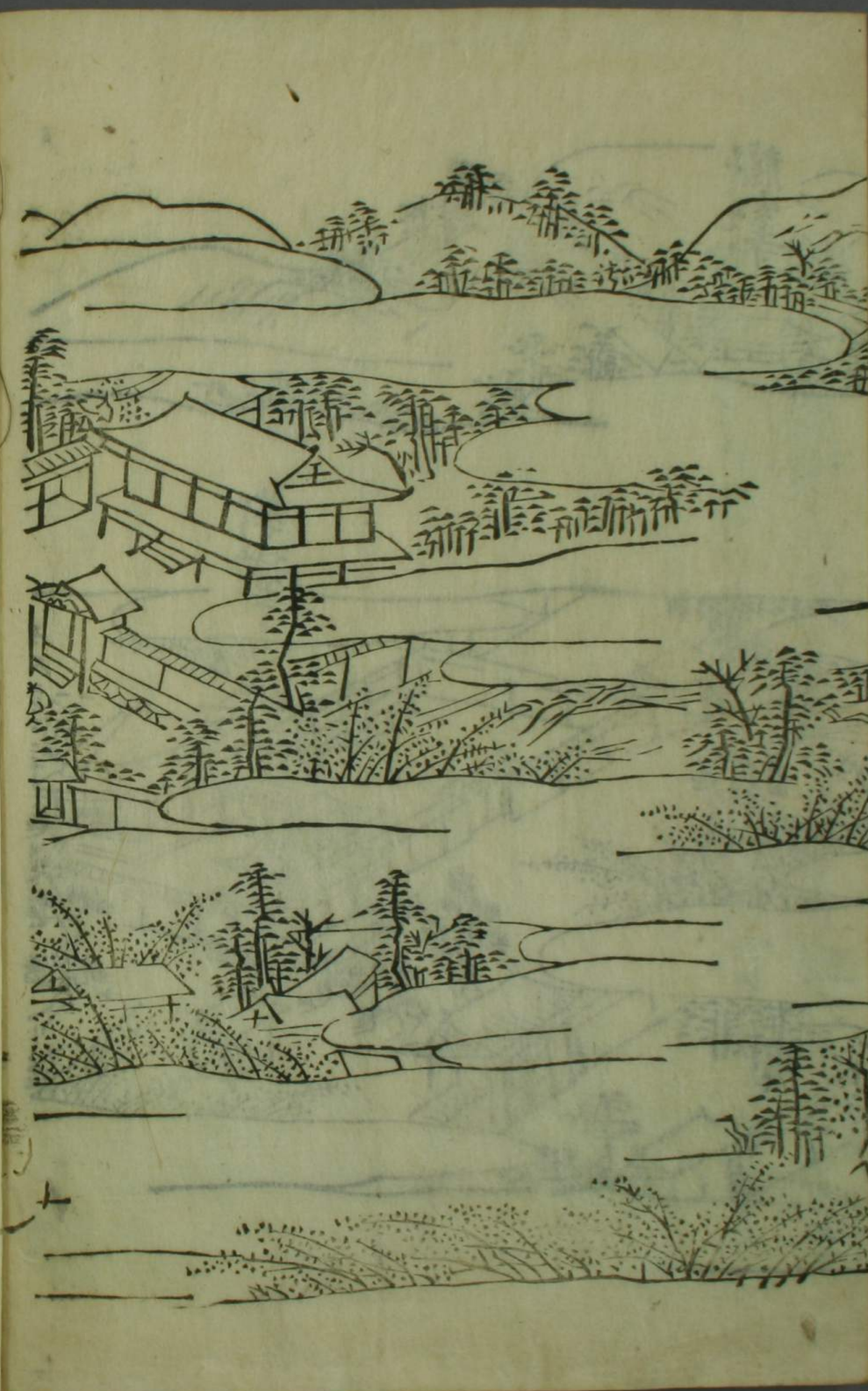
身命波打てまぼる。鴿とるとい。兎にうさぎ
の毛ごとく。夜はいしそうに屍陀林より嚼
にくうふゆて。止宿しけるに。傷害せられず。
又文殊師利に帰し。日々に字呪を持し
ちうるし。十六よしあ。上覚に使さ剃こ
し。東大寺の戒壇にはるゝ受具し。十
九にく。興然阿闍梨よりさづけ。西部の密法
ならけ。ちうしうる。北山の梅尾にしこ。賢首
宗をこなへぬ。或時。戸部尚書長房かうしら
く。我この法。金師子章ならく仏也。はるる
その弘のとうるる。弘ずくハ法ずしも
必ずしも知らるるハら。光顕抄二巻波ちう
忍心術ともくしし。坐禅次第并入解脱義
二巻波。ひぐしはるに仏眼妃乃法波仏
しはるに。初夜の供。おいるまく堂れ
いそ。ひ。今編の河群。西方に見て。東に
りそのえなるあ。小大星波おい。
ちに。いるくけ。ちくく。車知仏眼
ゐるかくちとはるいう。又多に仏妃はげ
しい。ぬ日。般若理趣分波さづけるなる。
分望ちゑ河。酒上ち理趣波通ちは
青ちやうや。考ぬ。ちくく学紀

経句乃遺忘せるを紙まくに記ゆるに於
もひ記たるしくくをこゝろ如さて不動乃
法師せるれ〻ゆ其墻たちゆ花苑と
なるを宝蓮をもつ〻めに奇香を方にわる。
梵僧ゑ千僧へぶに香炉紙をちなぐし
かゝめり。又供乃男侍者良詮と呼ぶ
しゆ。水桶にあらはるる。蜂虫紙たゝけ驚ま
ゝゝ小鳥とゝくゝ。一日平をこゝ。
仏眼にゝるへし血像檀供哭にゝにゝる
ゝゝや。或。文殊に弥勒し感幸とゝ
病卧乃東。夏ゆ一孫ゝ義紙ゝゝ

てゝゝ。餘味。口ゆ乃ゝゝ。疾もいゝ紙ゝ如
栂尾乃ゝゝ紙ゝゝてのゝ承
元ゝ文に。礼別ゆ。内崎山に。船藍を
ゝく。四年よまゝ。栂尾にもゝ。寛喜ゆ
正月十九日ゝ夜。彌勒像ゆ坐猶入
歌し。ゝでに。角息ゝゝ如ゝゝ龍の
角乃宝珠。炎炬紙ゝ。雲のゝゝ
文ゝ。ゝ口乃中ゝ。白光とゝゝ。
らくしゆ。宝紙出。紙紙ゝ。隙の
法儀をのべ。十九日の朝。ゝゝ紙ゝ
如字紙ゝ。南無彌勒菩薩ゝゝ

うぐ微笑乃鳥
やかしらのうぐ立の鶯

慈恩寺



妙心寺

○此寺はおしろの[illegible]
秋月山慧玄、信州[illegible]人なり。姓は源氏なる[illegible]
の孫やうしけなるゝ[illegible]。父[illegible]
相模[illegible]巨福山の廣嚴和尚に[illegible]
ひ。[illegible]時。建長寺開山[illegible]の宿[illegible]席[illegible]
同列[illegible]海内の叢林[illegible]法の[illegible]
師[illegible]大灯國師
[illegible]
衣[illegible]
[illegible]の[illegible]

[illegible]
こ[illegible]隆酬帝の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
大灯[illegible]正法山妙心禪寺[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○等持寺　○真如寺　○龍安寺
[illegible]

太秦

廣隆寺　蜂岡寺

○此寺ハ。仁和ちゅ南ずゝ東乃ゝ方
ゝ。ハ藥師佛也
聖徳天皇ナ乙ゝ年に。秦氏ものゝ引那ゝを
ゝ東ゝ蚕虫をやしなひ。織ものゝ。
綿綿をはくゝて。人ゝの屠ゝ衣あゝて一の
ゝ仏ゝ作ゝめ天皇ゝ。ふゝ賞ゝ。
山海國葛野郡大秦の地ゝ。ゝ賜ぬ。
ゝ生ゝ。ゝ。狩ゝ猟ゝ。ゝ糸かゝ。ゝ
ゝ又ハ。ゝのかゝ。ゝ巴僧ゝ。ゝ
ゝ。ゝ。秦氏ハ地ゝ秦始皇ハ屠と

してくるにてもまた大のうつくしくてくく大
秦と号すと也
推古十一年十月よ。聖徳太子侍臣をめ
うしてもて行給へり。一像をもてうつ仏
墨をもぐしてこさ時秦川勝もてゝ出て
つゞれをおつる蜂崗もてつくる一像八阿逸多
くくしけん。今は廣隆寺也

○はは二の第毎乃多なるも
まうしに水もなくあるを無なあの清
いくの蟲ん所ありけん